

令和 8 年度 離島観光活性化促進事業
沖縄本島周辺 15 離島実態調査業務
企画公募型コンペティション 仕様書

令和 8 年 4 月



1. 事業背景

新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画の基本施策として掲げている、「世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革」、「島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興」を実現するため、既存市場の維持・拡大とともに、リピーターの再訪促進や沖縄旅行未経験者市場等の新たな市場開拓を進めると同時に、本県観光において課題となっている滞在日数の延伸や消費単価の拡大を図るうえで、解決策の一つとして離島周遊を促す必要がある。来島者の実態及び志向性を的確に把握・分析し、エビデンスに基づく施策の高度化を進め、沖縄離島観光の振興を図るべく本事業を展開する。

2. 業務目的

近年、著しい人口減少により国内マーケットの規模が縮小していく中、沖縄観光においても限られた観光需要を的確に獲得していくことが求められている。とりわけ、沖縄本島周辺離島においては、実際に来島している来島者の属性や旅行形態、来島動機、滞在中の行動実態等を十分に把握し、それらを踏まえた効果的なプロモーションを実施することが重要である。

本業務では、沖縄本島周辺離島を訪れたことがある来島経験者ならびに実際に訪れている来島者を対象に、年齢層や居住地等の基本属性に加え、来訪回数、旅行目的、同行者、滞在日数、消費行動、体験・コンテンツへの関心、情報取得経路等に関するデータを収集し、来島者の実態及び志向性を明らかにするとともに今後のプロモーションに活かすことを目的とする。

3. 委託内容

業務委託の内容は次のとおりとする。

- (1) 沖縄本島周辺離島を訪れている来島者に関する調査業務
- (2) 調査結果をふまえた分析および考察業務
- (3) 調査結果をふまえた分析に基づくターゲット及びプロモーション戦略の策定業務
- (4) 企画実施体制の設置
- (5) 業務完了報告書の作成及び報告会の実施
- (6) その他、OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

4. 具体的な企画提案内容

- (1) 沖縄本島周辺 15 離島を訪れている来島者に関する調査業務

以下の調査条件をふまえた上で、効果的かつ実現性の高い調査設計について提案すること。

- ① 調査対象: 沖縄県外在住の 18 歳～70 代の日本人の男女

※修学旅行生は対象外とすること

- ② 調査地域: 沖縄本島周辺離島

■調査対象地域は以下の通り

伊平屋島(野甫島)・伊是名島・水納島・伊江島・津堅島・久高島・渡嘉敷島・座間味島・阿嘉島(慶留間島)・渡名喜島・栗国島・北大東島・南大東島

※野甫島は伊平屋島と、慶留間島は阿嘉島とそれぞれ橋でつながっており、一体的に周遊される島であることから、伊平屋島・野甫島および阿嘉島・慶留間島は 2 離島一緒に調査することとする

る。

③ 調査時期:7 月～2 月初旬

※調査の実施にあたっては、特定の季節要因や観光コンテンツ(マリンレジャー等)に偏らないよう、調査時期や設問設計等に配慮し、多様な来島目的や行動実態を把握できるよう工夫をすること。

④ 有効回答数:1 離島あたり 70 件程度以上を目安とする。ただし左記は年間の来訪者が少ない離島での目安であり、来訪者が多い離島については、可能な限り有効回答数を取得すること。

- ・最適な調査手法を提案すること。

- ・離島において調査を実施する場合は、受託者において、調査開始前に関係機関及び地域関係者と円滑に実施できるよう連携・調整を行うこと。

- ・市場の代表性を担保できるよう、集計・分析時は市場の出現構成比にあわせて WB(ウェイトバック)すること。

- ・回答率向上のための具体的施策を提案すること。(ノベルティ及びポイントサービス等含む)

※ノベルティについては、オリジナル制作・既製品の購入いずれも可とし、効果的かつ費用体効果の高い手法を提案すること。

※ノベルティの発送等、個人情報を取り扱う業務が発生する場合は、受託者において実施することとし、プライバシーマーク等の個人情報保護に関する認証を取得していること。

- ・別紙①の調査項目案を参考にし、より効果的な設問構成となるよう、設問内容・構成・設問数等を含めて最適化し、より実効性の高い調査設計を提案すること。

(2) 調査結果をふまえた分析および考察業務

- ・調査結果を効果的に活用するための分析手法について具体的に提案すること。

(3) 調査結果をふまえた分析に基づくターゲット及びプロモーション戦略の策定業務

- ・調査結果をふまえた各離島のターゲットの設定およびプロモーション戦略の策定等を行うこと。

なお、想定される仮設ターゲットや施策の方向性についても、過去実績や知見をふまえ提案すること。

(4) 企画実施体制の設置

① 企画実施体制の提案

- ・委託業務全体を統括する担当者 1 名の配置、担当者を明記すること。

- ・調査地域との連携等も含め、包括的な協力体制をとること。

- ・コンソーシアムでの参加の場合は各企業・団体名を明記すること。

② 事業全体のスケジュールの提案

(5) 業務完了報告書の作成及び報告会の実施

① 業務全体報告書の作成

- ・業務全体の実施内容やその事業効果とともに、業務全体を分析し課題について取りまとめ、報告書を作成すること。

- ・次年度に向けた提案も記載すること。

・抜粋版の報告書も併せて作成すること。

- ② 業務完了報告書を基に、事業全体の報告会を行い、次年度に向けての改善策等の提案を行うこと。
- ③ 業務に掛かった費用内訳と、その適正及び支払いを証明する証ひょう書類を提出すること。

例)・外注先企業等からの納品書、請求書及び外注先企業等への支払い証明書

・自社経費について料金表や単価表など、定価が証明できる書類。また、人件費稼働一覧、勤務表等

(6) その他、OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

5. 成果物一覧

受託事業者が提出すべき成果物の一例は下記のとおりとする。

成果物等一覧(一例)

項 目	内 容
① コンテンツ及び素材データ	作成した Web サイト等の電子データ 本業務で使用した映像、画像等の素材 (映像素材は、HD カム及び PC にて再生できる DVD ディスク、図版素材は、イラストレータデータ(アウトラインを取る前と後の両方で加工可能な状態であること)及び PDF データ(確認閲覧用を納品))
② 業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書 1 部(全体版・抜粋版)、及びデータ(PDF 及びパワーポイント)での提出
③ PR ツール	本業務で作成したパンフレット、ポスター、ノベルティ等(各 3 点)
④ その他	業務実施にあたって制作した成果物(各 3 点)

※事業における成果物等については、メインロゴとして「Be.okinawa」を掲示し、必要に応じて沖縄県及び OCVB ロゴマークを掲示すること。

6. スケジュール

受託事業者は下記のスケジュールで業務を実施すること。

・成果物及び業務完了報告書の提出:令和 9 年 2 月 26 日(金)まで

7. 著作権・特許権

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権(著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権)を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は、事前に OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用もしくは沖縄県・OCVB が観光振興に資すると判断した上で、第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。

- (4) 本業務にて作成する印刷物等に使用する OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。
- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開ができないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

8. 注意事項

- (1) 提案企画の中で OCVB が行う業務がある場合は、企画書に明確に記載すること。
- (2) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (3) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画内容をすべて実施することを保証するものではない。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 本業務にて作成する各媒体へ掲出する掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正(情報内容の確認)を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において予算や諸事情によって変更することがある。

以上

【別紙①】調査項目案

- ・居住地(都道府県・海外)
- ・年代／性別
- ・年収
- ・今回旅行の同行者(1人、カップル、家族、友人)
- ・普段の旅行同行者
- ・旅行形態(個人手配・パッケージ)
- ・沖縄県来訪回数
- ・当該離島の来訪回数(初回/リピーター+回数)
- ・リピート理由
- ・島の滞在日数
- ・宿泊形態(民宿・ホテル・民泊・キャンプ・コテージ・ヴィラ・一棟貸し)
- ・島での消費金額(渡航費は除く)
- ・島内の移動手段(レンタカー、バス、タクシー、レンタサイクル、レンタルバイク、徒歩、その他)
- ・滞在中の過ごし方(観光地巡り、マリンレジャー、イベント、スポーツイベント、地域の人とのふれあい、その他)
- ・今回の旅行目的
- ・この島を訪れた理由(来訪動機)
- ・どういう目的で旅行に行くことが多いか。
(マリンレジャー、リトリート、異文化体験、観光地巡り、マラソン、ゴルフ、ホカンス、旅行が好きだから)
- ・離島を知ったきっかけは何か。
(SNS、口コミ、Youtube、旅行雑誌、観光協会HP、旅行パッケージ等)
- ・島へ行くことをいつ決定したか。
(1か月前、2か月前、3か月前、2週間前、1週間前、前日)
- ・島を訪れる前に知りたかった情報は何か。
(観光地、食、アクセス情報、モデルコース、宿泊施設)
- ・島に来るにあたり障壁になることはあったか。
(費用面、アクセス、時間がかかる、宿泊施設の少なさ、情報の少なさ、その他(記述式))
- ・過去の渡航歴(他の島に行ったことがあるか)※八重山諸島・宮古諸島・久米島を除く選択肢
- ・今回の旅行で沖縄本島の観光をしたか。どこを周遊したか。
☐はい → 周遊した場所を回答(記述式) ☐いいえ → 次の質問へ
- ・なぜこの時期に訪れたのか。
(冬: 安いから、人が少ないから、暖かいから、ホエールウォッチング等)
(夏: マリンレジャーしたいから、綺麗な海が見たいから等)
- ・満足度(1～5)
- ・他人に勧めたいか。
- ・再訪したいか。